

年間指導計画を立案する際の参考資料

中学校 第2学年 「美術（日本文教出版）」

25時間（70%）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点
1	B鑑賞 (1)ア 【選択】	光が生むリアルとドラマ 1時間	光と陰影の効果などから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、自分の見方や考え方で味わう。	1	<ul style="list-style-type: none"> 表現活動との関連を意識する。 作者の心情や意図について話し合う時間を設定する。
		名画の魅力に迫る 1時間	形や色彩、構図や人物の描き方などから、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫を感じ取り、歴史に残る名画について理解や見方を深める。	1	
2 ~ 5	A表現 (1)ア (2)ア B鑑賞 (1)ア 【選択】	新鮮な視線でとらえよう 5時間	身近な風景をいろいろな角度から見つめ直し、感じ取ったイメージなどから主題を生み出し、視点や構図、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や写真で表現する。	5	<ul style="list-style-type: none"> 制作する作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。 制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。
		心でとらえたイメージ 5時間	心でとらえた感情や言葉の印象などから主題を生み出し、形や色彩の効果、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や立体で表現する。	5	
		響き合う言葉と絵 5時間	自然や生活の様子から感じ取った思いなどから主題を生み出し、言葉と絵の組み合わせや材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に絵や写真で表現する。	5	<ul style="list-style-type: none"> 制作する作品の大きさを制限することで、時間削減できるよう配慮する。 題材「墨が生み出す豊かな世界」と複合的に扱うことも考えられる。 制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。
		墨が生み出す豊かな世界 5時間	感じ取ったことや考えたこと、墨のイメージなどから主題を生み出し、構図や墨の生かし方などを工夫して創造的に絵で表現する。	5	
6 ~ 10	A表現 (1)イ (2)ア B鑑賞 (1)イ 【選択】	日本の美意識 6時間	目的や条件などを基に日本の美意識を生かした構成や装飾を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。	6	<ul style="list-style-type: none"> 色彩の資料「色について理解を深めよう」を扱う。 制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。
		情報をわかりやすく伝えよう 6時間	伝えたい内容が瞬時に伝わるように、形や色彩を単純化や強調し、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にサインやピクトグラムをデザインする。	6	
		豊かなイメージで伝えよう 6時間	伝えたい内容のイメージが豊かに伝わるように、構図や配色を考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。	6	<ul style="list-style-type: none"> 色彩の資料「色について理解を深めよう」を扱う。 加工が容易な紙などの材料で制作することで、時間削減できるよう配慮する。 制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。
11	B鑑賞 (1)イ 【選択】	東へ、西へ 1時間	日本と西洋の美術や文化が影響し合っていることや、相異や共通性に気づき、美術文化を継承し創造することの意義を理解する。	1	<ul style="list-style-type: none"> 表現活動との関連を意識する。 作者の心情や意図について話し合う時間を設定する。
		漫画表現の豊かさ 1時間	日本の絵巻物や漫画に見られる表現方法を味わい、伝統の継承や創造の視点から漫画表現の特徴やよさをとらえ、日本の美術や文化に対する理解を深める。	1	
12 ~ 16	A表現 (1)ア (2)ア B鑑賞 (1)ア 【選択】	しぐさで語る動物たち 6時間	好きな動物や想像上の動物の特徴や動き、しぐさ、生命感などから主題を生み出し、構成や材料、用具の生かし方などを工夫して創造的に立体で表現する。	6	<ul style="list-style-type: none"> 制作する作品の大きさを材料の種類を制限することで、時間削減できるよう配慮する。 制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。
		瞬間の美しさを形にしよう 6時間	人物の動きから瞬瞬間などをとらえて主題を生み出し、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的に立体で表現する。	6	

17 ～ 21	A表現	手づくりを味わう喜び	素材がもつ特性や美しさを生かし、用途や機能、楽しさなどを考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。	6	・色彩の資料「色について理解を深めよう」を扱う。 ・鑑賞題材「座ることから考える」を題材の導入等で扱う。
	(1)イ (2)ア			家庭	・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。
	B鑑賞			6	・色彩の資料「色について理解を深めよう」を扱う。 ・鑑賞題材「座ることから考える」を題材の導入等で扱う。
	(1)イ 【選択】	やさしさのデザイン	使いやすさや安全性、使う人の気持ちなどを考え、材料や用具の生かし方などを工夫して創造的にデザインする。	家庭	・制作に必要な資料収集やアイデアスケッチなど、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。

※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、A表現（1）イ（2）アを扱う題材として、「日本の美意識」「情報をわかりやすく伝えよう」「豊かなイメージで伝えようのいずれかを選択して実施する。 など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、制作時間の短縮を図る。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、生徒が表現技法を選択して制作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間で行うことが考えられる。

○振り返り（制作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞することが考えられる。友達の作品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○鑑賞の題材を表現の題材の導入等で扱うなど、表現と鑑賞の関連を意識し複合的に行う。

○資料収集やアイデアスケッチ、配色計画など、構想を練る学習の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して生徒に返す。